

米国・カレッジステーションにおいて、共同シンポジウムを開催

11月2日、3日に、米国・テキサス州カレッジステーション（Hilton Hotel, College Station 会議室）において、米国側拠点のテキサス A&M 大学（TAMU）と共同で、共同シンポジウム”International Symposium on Nutrition and Human Health”を開催しました。本シンポジウムは、米国側代表者である TAMU の Guoyo Wu 教授と白川を世話人として企画されました。初日午後、Wu 教授の開会の挨拶により開会し、TAMU 農学生命科学部学部長の Patrick Stover 教授の挨拶、原田准教授（CFAI 副センター長）の CFAI や拠点形成事業の概要説明がありました。続いて、シンポジウム演題に入り、翌日まで TAMU から 5 名、カリフォル



ニア大学 Davis 校から 2 名、東北大学から 5 名のシンポジストの発表があり、それぞれの発表に対して終止、様々な議論がなされました。また、初日の夕食後に若手研究者を中心としたポスターセッションがあり、夜遅くまで活発に議論が行われました。2 日間のシンポジウムにおいて、延べ 70 名近い参加者があり、米国、日本以外からの参加者もおりました（バンングラディッシュ）。シンポジウムの合間に、若手研究者や学生の派遣を含めた

今後の共同研究についての打ち合わせも行いました。

今回このような共同シンポジウムの機会を提供して頂きました研究交流支援に感謝いたします。

